



きりん クラスだより 6月号

24.6.30



梅雨が明け、急に暑くなっていましたね。きりんさんたちも、突然の暑さに汗をいっぱいかきつつも、元気いっぱいです。水あそびがとても気持ちよく、プールに入ったり、しゃぼん玉をやったりと涼しい所を求めてあそんでいます。水分補給や休憩、おいしいご飯やおやつ、睡眠をとりながら、この暑さに負けないよう、たっぷり遊んでいきたいと思っています。

プールあそび



プールでよくしゃべり合うきりんさんたち

追いかけるのも楽しい様子!!



しゃぼん玉あそびも大好き!!



何色のカエルかな?



きりんさんで育てているおたまじやくしに、ようやく手足が出てきました!!

一 昼食後のきりんさんたちです

それぞれ、やりたいあそびをみつけて遊んでいます。気の合う友達と心許してあそび合うきりんさんたち。この時間、なんだかホッとすきみたいです。



自分たちであそびのルールを考えて、あそんでいる男の子たち。ドミノが倒れたら負けとか、勝ち負けもあるようです。



懇談会のご参加ありがとうございました。久しぶりに、保護者の方々と、色々話しかできてとても有意義な時間となりました。感想もありがとうございました。

7月の予定

- 1日(金) 園内夏まつり
- 2日(土) 夏まつり
- 7日(木) セタ・誕生会

- 14日15日(木金) らいおんキャンプ
- 29日(金) お楽しみメニュー調理日
- ※ お弁当日はありません。

描画を楽しむみんな

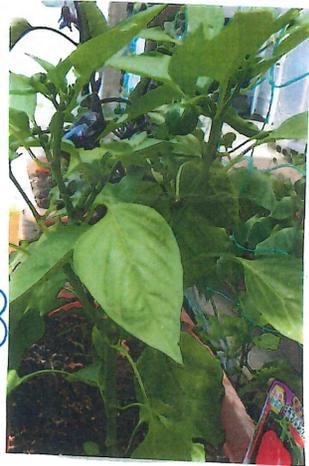
クレヨンと絵の具を使って描画をしました。初めてでしたが、「うわー、すごいー」「もと絵の具の色使いたい〜」etcイメージを膨らませ、とても楽しんでいました。みんなたちです。



夏まっりの看板づくり



ナス



パプリカ

野菜の苗も大きくなってきています!!



スイカ

指しゃぶりや爪かみ、タオルや毛布をしゃぶる、性器いじりなど、幼児期の子どものくせは、大人にとっては意外と気になるものです。

この時期のくせは、たとえば自分の要求と社会のルールとがぶつかって、それに折り合いをつけていこうとするとき、気持ちを調整するための支えになっていることが多いのではないかと思います。

その意味では、3歳を過ぎて4、5歳になるくらいになると、くせのある子どもは、そのくせがより頻繁になるのもうなずけます。自分の要求と、どうあるべきかということとの間で、子どもの葛藤が始まるからです。

そうだとすれば、自覚なしにやっているくせを本人に意識させ、それをいけないことだとしなかったり、さしたりするのは、子どもに大きな負担になるのではないかと思うのです。

4、5歳ぐらいいなれば、ていねいに言い聞かせれば、子どもは努力して、くせをやめようともします。

ただ、そのことがより大きな負担になり、たとえば指しゃぶりはやんだけれど、チックの症状が出てきた、というように、別の形で出てくることもあるのです。

また、どうしてもそのくせがやめられない場合、「大好きな大人が、『やめてほしい』と思っていることをしてしまおう自分だめだ」と思ってしまうことも考えられます。また、大人が何とか指を口からはさそうという気持ちから、さりげなく手を使う遊びにさそうということも、子どもにはそれが感じられて、やはり負担になると思います。

くせがひどくなったら、本人に注意するのではなく、その子どもの生活のストレスが強すぎているか心配しましょう。自分の心の調整に、もっといい方法が選べて、くせだけにたよらなくてもすむときがきたら、自然と自分でコントロールするようになると思います。

(清水玲子)

『くせ』はどうしておこなうの?

懇談会で出た話題だったので...